

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
償却原価法(定額法)によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品 定率法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
税込方式で処理している。
- (4) 各表の単位は円である。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	63,200,000	0	20,000,000	43,200,000
投資有価証券	0	20,083,675		20,083,675
小 計	63,200,000	20,083,675	20,000,000	63,283,675
特定資産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	63,200,000	20,083,675	20,000,000	63,283,675

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち 負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	43,200,000	19,600,000	23,600,000	0
投資有価証券	20,083,675	20,000,000	83,675	0
小 計	63,283,675	39,600,000	23,683,675	0
特定資産				
移転準備金	0			
小 計	0	0	0	0
合 計	63,283,675	39,600,000	23,683,675	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	期末残高
什器備品 ノートパソコン	124,200	124,199	1
合 計	124,200	124,199	1

5. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
利付国債10年第376回	9,972,922	9,522,150	-450,772
利付国債10年第377回	10,110,753	9,757,910	-352,843
合 計	20,083,675	19,280,060	-803,615

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
アイバンクだより助成金	愛媛県共同募金会	0	90,000	90,000	0	
合 計		0	90,000	90,000	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 訳	金 額
経常収益への振替額 基本財産受取利息	52,076
合 計	52,076